

令和7年度 第2回 小平市地域公共交通会議 会議要録

1 日 時

令和7年12月23日（火）14時00分から15時15分まで

2 会 場

市役所3階 301会議室

3 出 席 者

小平市地域公共交通会議委員 13人

事務局（都市開発部公共交通課） 2人

※傍聴者 1人

4 会議次第

（1）開 会

（2）令和7年度コミュニティバス・コミュニティタクシー乗車実績について（11月末現在）（報告）

（3）小平南西部地域におけるデマンド型交通の実証実験運行終了に係る市議会への報告について（報告）

（4）コミュニティバスのダイヤ改正後の乗車状況について（報告）

（5）その他

・バスとタクシーのひろば in 小平2026の開催について

（6）閉 会

5 配布資料

- ・資料1 令和7年度コミュニティバス・コミュニティタクシー乗車実績（11月末現在）
- ・資料2 小平南西部地域におけるデマンド型交通の実証実験運行について
- ・資料3-① デマンド型交通（乗合タクシー）利用登録者アンケート調査結果
- ・資料3-② デマンド型交通（乗合タクシー）利用登録者アンケート調査票
- ・資料4 コミュニティバス乗車人数の推移

6 会議内容

（1）開 会

- ・委員の任期満了に伴う新委員の自己紹介
- ・小平市地域公共交通会議設置要綱第5条に基づき委員による互選の結果、鈴木委員を会長として選任
- ・都市開発部長の挨拶・傍聴者の確認

（2）令和7年度コミュニティバス・コミュニティタクシー乗車実績について（11月末現在）（報告）

事務局から、資料1に基づき説明後に質疑

会長

大沼ルートについて、11月末までの乗車人数が前年比減だが、一日平均では増えている理由は日数等によるものか？

事務局

そのようにとらえている。

- (3) 小平南西部地域におけるデマンド型交通の実証実験運行終了に係る市議会への報告について（報告）
事務局から、資料2、資料3-①、資料3-②に基づき説明後に質疑

事務局 （資料補足説明）

南西部地域ではコミュニティ交通をみんなで考える会が発足し、地域の特長・柔軟性、ニーズに即した公共交通手段として、コミュニティタクシーのような定時定路線ではなく、柔軟に運行ルートや乗降場所を設定できる運行形態であるデマンド型交通の実証実験を検討してきた。

今後の方向性として、小平の南西部地域においては過去3回にわたるコミュニティタクシーの実証実験と今回のデマンド型交通の実証実験を行ったが、いずれも目標を達成することはできなかった。しかしながら、今回の実証実験においては利用登録者データをもとに、予約システムを通じて誰が、どこから乗って、どこで降りたかという利用実績データを収集することができた。また、実証実験期間中に運行システムを見直して運行エリアを1つにまとめたことで、西武国分寺線を超える移動ニーズがあることを確認できた。さらに、高齢者だけでなく、10歳未満、10歳代といったこどもの利用ニーズがあるというデータも得ることができた。

こうしたことから、今後の南西部地域における公共交通のあり方としては、従来のコミュニティタクシーにデマンド型交通の利点を加えるなど、新しい運行方式の可能性を探ることや、新たな交通手段の実現性を検討していくことで新たな利用者を確保することができれば、目標の乗車人数に近づくことができるのではないかと考えている。そのため、今回得られたデータやアンケート調査結果などをもとにさらなる研究を進めるとともに、関係機関などとの調整も必要となるため、今後考える会とともに南西部地域の公共交通のあり方について協議を進めていくことを現在考えている。

委員

アンケート調査のQ13、再開された場合の利用意向について、選択肢の「一度は利用する」とはどの程度の利用を想定しているのか？

事務局

アンケート結果であり、詳細に追跡はできていないが、再開した場合には一度は乗ってみたいということを想定している。乗ってみて良ければ利用を継続することにもなるが、月に1回なのか、1回限りということなのかは不明。

委員

Q14で「将来的には必要」について、今回のデマンド型交通では高齢者などが乗り降りする際の補助は行っていたか？

事務局

今回の実証実験では特に補助はしていない。

委員

将来歩くことが厳しくなった時に使いたいという人の場合、補助が必要になるのではないかと？

事務局

「免許を返納した際などに利用したい。」と直接聞いた。そのような人は、現在は乗り降りについて

ては自分でできる。また、バス停までは歩けるということを聞いている。

委員

資料3-①、アンケート調査結果の7ページ目、Q11の利用しなかったその他の理由について、「デマンド型交通のシステム上の課題」として分類された回答の中で「利用方法が分かりにくい、ぶるべー号の方が利用しやすい」という記載がある。小平市では他市と比べてコミュニティタクシーぶるべー号の成功がある。さらに、にじバスも運行しており、そのレベルを基準に考えてしまうのではないか。「利用しない」と回答した人が一定程度いることを考えると、そういったことが改善されない限り利用は進まないかもしれない。改善して欲しい点が何かを細かく確認していくことが必要ではないか。

事務局

本日配付した公共交通マップを見ていただきたい。小平市は東西に走る青梅街道を境にして南側と北側に分けられる。また、南北に走る西武鉄道の多摩湖線を境に東側と西側に分かれており、この2つの線によって市内を4つの地域に分割してみることができる。

4つに分けた市の北東部の地域の駅は小平駅1つで、ここではぶるべー号の大沼ルートが運行されてうまくいっている。また、南東部地域は中心となる花小金井駅の南口からぶるべー号の鈴木町ルートが運行されている。

南西部地域では鉄道駅として鷹の台駅、新小平駅、青梅街道駅、一橋学園駅など、駅の数が多いが核となる駅が無いことが特徴となっている。また区域内では国分寺市へ行くバスのほか、東側に行けば東大和市駅もあり、立川駅へ行くバス路線もある。こういったことが他の地域とは少し異なっている。一方で地域の中では考える会が発足して南西部地域でもコミュニティ交通を走らせたいという強い要望があり、昨年6月から1年間、デマンド型交通の実証実験を行ってきた。今委員からご指摘いただいたように、もう少し分析を進めていかないと課題の解決ができないことが見えてきた。

南西部地域は地図で見ていただいたとおり、駅が多く、バス路線も多く走っている。また、玉川上水沿いの道路は細い狭い道路で、車両の規制がかかっている地域もある。考える会では今回様々なデータを得ることができたので、それをもとに分析をしながら次の取組について協議を進めている。

会長

アンケート結果をどのようにとらえてどのように発信していくかは難しい。先ほど話があったように、「一度は利用する」と「定期的に利用する」を合わせて「利用する」というくりもできるが、1度利用する人と定期的に利用するとはかなり隔たりがあると思われるため、慎重な分析が必要。

自由意見などでもデマンド型交通の課題として、予約方法などが挙がっている。また、デマンド型交通では乗合により到着時刻が読めないことが前提だが、それを不便と感じている人もいる。そういったことをみると、デマンド型交通自体の理解が進んでいないように思われる。今回のアンケート結果についてはかなり緻密に分析を行う必要がある。

(4) コミュニティバスのダイヤ改正後の乗車状況について（報告）

事務局から、資料4に基づき説明後に質疑

会長

運行事業者から何か補足することがあれば。

委員（運行事業者）

乗車人数の推移は資料のとおり。同様の改正を行った場合3割程度の減だが、にじバスは2割の減少にとどまっている。一便当たりの乗車人数が増えて混雑するという面はあるが、運行効率は上がっている。何よりもありがたかったのは、運行を開始した頃と比べて利用者の高齢化や自家用車の増加など、運行環境が変化しており、改正前の20分間隔ダイヤでは道路渋滞などによる遅延が発生しやすい状況が課題となっていた。改正後は30分間隔としたことで乗務員においてもその点の不安が解消された。安全性の確保とともに定時性も上がっている。

今後も利用者のにじバスが確実な公共交通として使えると認識していただけるよう努力していきたい。

委員

今回のダイヤ改正は乗務者からも好評。乗車人数の密度が上がっているが、事故が無いことが第一であり、配慮に感謝している。

会長

定時制の確保のためには少し余裕をもたせないといけない。今のコミュニティバスの多くは2000年前後に運行を開始しているものが多いが、環境の変化で当時のダイヤでは定時運行が難しくなっている現状がある。東村山市でも多少の減便を伴ったが、所要時間の見直しをしてダイヤ改正を行った。東村山市では運賃改定をして、それからダイヤ改正を行った。その際は乗車人数が減ったが、その後、割と早く回復している。にじバスも時刻表通りバスが来るという信頼性が定着してくれば人は戻ってくる。確かに一便当たりの乗車人数が増えると高齢者が高齢者に席を譲るといったケースもでてくるかもしれないが、そのあたりのことは様子を見ながら今後考えていけばよいと思う。

（5）その他

- ・バスとタクシーのひろば in 小平2026の開催について

事務局

2024年と2025年のプログラムを参考に用意した。会場等は現在調整中だが、予定として、会場はブリヂストンイノベーションセンターを想定。開催日は5月の第3または第4土曜日とする予定。今回もみなさんの協力をお願いしたい。

会長

日程としては5月16日か23日ということか。いつ頃確定するのか？

事務局

年明けの早い時点で決めていきたい。

会長

みなさん何度も経験しているのでどのようなものかは理解していただいていると思う。内容については今後精査し、関係者のみなさんのご協力をいただきながら進めたいと思うので、よろしくをお願いしたい。

(6) 閉 会

会長

それでは本日予定していた議事を全て終了し、以上で令和7年第2回小平市地域公共交通会議を閉会とする。

ご意見色々ありがとうございました。